

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部道路環境課		■担当係	総務係
■評価事業名称	道路愛護会連合会運営事務			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	070100 - 111	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	01 快適な住環境の整備		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	道路愛護思想高揚、道路美化のため。道路愛護思想の高揚及び道路美化作業の支援			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	道路愛護会連合会運営事務	黒西・東地区の一部を除く交流センター単位		会議等2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	1,060	1,056	1,041	1,033	
人件費	1,679	1,415	976	769	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,739	2,471	2,017	1,802	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	活動参加延人数	年間34,096人の活動実績	年間29,928人の活動実績	年間30,308人の活動実績	年間29,923人の活動実績	目標の指数に対する、参加延人数の割合

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

多くの市民が地域活動として道路清掃、草刈等を行っている。市の直営で実施できない部分を行ってもらっている。

問題点・課題等

一人あたりに換算すると、金額が微細なため、報償金の増額を各地区から求められている。草刈機の燃料費も地区や自己負担となっている実態がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- ☐ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- ☒ 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- ☐ 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- ☒ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- ☐ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- ☐ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ☒ ニーズが高まっている
- ☐ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
- ☐ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- ☐ 民間委託等の拡充は難しい
- ☒ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

除草等の委託予算を大幅に増額すれば委託等が可能であるが、負担が増大。

■今後の方向性

- ☒ I. 拡充
- ☐ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☐ V. 完了